２０１８・５・１９　読売新聞

リーダーズ メッセージ
LEADER'S MESSAGE

エム・ケー株式会社
代表取締役　小林勁（つよし）さん

BS日テレ　5月19日(土)・5月26日(土)　よる10時54分から放送

企画・制作　読売新聞社広告局
協力　BS日テレ

PR

変わりゆく時代に応える街づくり

不動産開発などを行うエム・ケー（本社・東京都日野市）は今年で創業30周年を迎え、年商200億円企業に成長しました。創業者の小林勁代表取締役にお話を聞きます。

――事業内容は？

ショッピングセンターといった大規模商業施設や工業団地などの開発を手がけるデベロッパー事業と、社宅やビルなどの物件を借り上げて当社からテナントに賃貸するヘッドリース事業の２本柱で展開しています。

――経営では何を大切に？

1988年に45歳で起業しました。長野・安曇野の農家に生まれ、時間をかけて大きく育て上げる「農耕経営」の精神を大事にしています。常に「人を裏切らない」「約束をきちっと守る」「リスクは自分で負う」。小さな信頼の積み重ねが、現在の会社の信用や信頼につながっています。

――多くの街づくりに携わっています。

30自治体と共同で開発を進めました。調整区域内に地権者が100人以上いるプロジェクトもあります。10年単位の時間をかけて、地権者の同意を取り付けるなどして取り組んでいます。

――今後の展開は？

開発には長い年月がかかります。今後、労働人口の減少によって、土地の利用法や不動産の価値が変わってきます。その変化をどう捉えて、何を創造していくか。現在、30年前にまいた種の花が咲き始めています。100年企業を目指し、大きな実がなるために努力します。

「リーダーズ メッセージ」は、読売新聞社とBS日テレが連携し、トップインタビューを実施、隔週で紹介する企画です。詳細は番組をご覧ください。